

【10 スマートモビリティプラットフォームの構築】

目指す社会像

持続可能な都市や地域

解決すべき
社会課題

- 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住の実現（SDGsの11）
- 次世代に引き継ぐ基盤となる都市と地域づくり（スマートシティの展開）/都市や地域の抱える諸課題の解決（基本計画）
- 持続可能な都市や地域/多くの都市や地域が直面する高齢化や人口減少（基本計画）
- 都市部と地方部の経済や住民サービスの格差の拡大/ビジネス機会の減少（基本計画）
- インフラや交通システムの維持コストの増大（基本計画）

次期SIP
課題候補

【10 スマートモビリティプラットフォームの構築】

移動する人・モノの視点から、移動手段（小型モビリティ、自動運転、MaaS、ドローン等）、交通環境のハード、ソフトをダイナミックに一体化し、安全で環境に優しくシームレスな移動を実現するプラットフォームを構築する。

必要と考えられる
基盤技術、共通
システム、ルール
などの例

<事例> ※次期SIPターゲット領域有識者検討会議の有識者や委託調査等で得られた事例。**RFIで提案いただく研究開発テーマはこれらに限られないが、この程度の粒度での提案を期待。**

- 地域の特性やユーザーニーズに応じた多様な移動手段のシームレスな提供
- データ活用・連携による道路・都市空間のダイナミックな利用
- 物流高度化のための機械化・自動化
- MaaSのAPI化
- モビリティ関連データ連携システム基盤、大規模実証、事業モデル・仕組みの構築
- 交通量や人流からの危険個所・要対策箇所の抽出
- ダイナミックマップデータの共通仕様、多様なモビリティ制御のためのインフラ
- 多目的ドローン開発、ドローン運行管理システム基盤技術
- ドローンの空間利用に関する権利調整システム
- 規制のデジタル化
- 移動データ活用による免許・保険制度
- デジタルインフラの整備

参考となる施策、 関連文献等

- **A fundamental transport transformation: Commission presents its plan for green, smart and affordable mobility (2020年12月9日、European Commission)**
 - 今後4年間の活動指針となる82の取り組みからなるアクションプランを明記
 - 「欧州グリーンディール」(2019年12月、欧州員会)に従い、スマートで競争力があり、グリーンかつ安全で、利用しやすい手頃な価格の輸送システムの実現
- **EU規則2017/1926 (COMMISSION DELEGATED REGULATION(EU)2017/1926) (2017年5月31日)**
 - 各加盟国は、この規則に基づきNational Access Point(NAP)を設け、データ収集・活用のプラットフォームを整備
- **「官民ITS構想・ロードマップシステム戦略 これまでの取組と今後のITS構想の基本的考え方」(2021年6月15日、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部・官民データ活用推進戦略会議)**
 - 2030年のモビリティ社会の実現目標「国民の豊かな暮らしを支える安全で利便性の高いデジタル交通社会を世界に先駆け実現する」
 - 今後、「技術開発」、「交通インフラ整備とコネクテッド実装」、「制度整備」、「デジタルモビリティプラットフォームの構築/データ連携」、「社会実装・社会受容性」の5つの観点により官民で取り組む
- **「2040年、道路の景色が変わる ～人々の幸せにつながる道路～」(2020年6月、国土交通省)**
 - 概ね20年後の目指す社会像実現に向けて、道路行政のDX、ビックデータやAIの利活用、さらに新技術の開発・活用によるリーディングプロジェクトの形成などの取り組みの必要性を提言
- **「デジタル変革時代の電波政策懇談会」(令和3年8月、総務省)**
 - 2030年代に向けた「次世代モビリティシステム」の周波数帯域の目標について設定
- **「多様な交通主体の交通ルール等の在り方に関する有識者検討会」(令和3年12月、警察庁)**
 - 電動キックボード、自動配送ロボットなどの新たなモビリティの更なる活用を目指して、道路を利用する多様な交通主体全てが安全かつ快適な通行を可能とする交通ルールの在り方を検討。
- **物流分野におけるモビリティサービス(物流MaaS)勉強会とりまとめ(経済産業省)**
 - 荷主・運送事業者・車両の物流・商流データ連携と部分的な物流機能の自動化の合わせ技で最適物流を実現
 - 商用車業界としての取り組みの3つの方向性：①トラックデータ連携の仕組みを確立、②見える化・混載による輸配送効率化、③電動商用車活用・エネマネ検証

現状のトレンドを延長する手法を脱し、ヒトやモノの移動について目指すべき未来の姿や課題から今為すべきことを捉えるという、いわば「フューチャーブル」の発想によるアプローチ



図 今後のITS構想の基本的考え方

出典：「官民ITS構想・ロードマップ これまでの取組と今後のITS構想の基本的考え方」
(2021年6月15日,高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部・官民データ活用推進戦略会議)